



校長室だより

R5.10.6.号

岐阜市立東長良中学校

前期終業式

記録的な猛暑となった今年度。新型コロナウイルスの扱いも5類となり、不自由だった学校生活から、新たな活動が展開されるようになってきた。そんな令和5年度の前半でした。

皆さんも知ってのとおり、東長良中学校にとって、小集団のよる学び合いの授業とHEROプロジェクトによるいじめ克服の取組は、本校の中核と言ってもより取組です。前期も学級や学年、生徒会の活動でまじめに、ひたむきに、精力的に取り組んでいました。また、先週に実施した東長良祭も象徴的な活動でした。保護者、地域の方々や来校される方々より、皆さんの笑顔、柔らかな表情がとてもよいと言っていたできるようになりました。やはり、皆さんがやりたいと思ったことを実現することが、何よりだと実感しました。やって良かったと思っています。こうして、これまでの先輩たちから引き継がれた取組により、本校の校風が育まれています。

ただ、学校としてそのような評価をいただいても、大切なのはひとりひとりだと思っています。ひとりひとりが授業で、できた、わかったと感じられているか。協・優・敬・恕の心に溢れ、幸せな学校生活を送れているか。先生たちは引き続き、皆さんの幸せを願い全力で取り組んでいく気持ちです。

さて、9月のPTAの会議で、こんなご意見を聞きました。「学校にはいろいろな校則がある。文章になっているものから、文章にはなっていないけれど先生たちから言われていること、なかにはどこにも書かれていないけれど、生徒の皆さんが校則としてとらえていることがある。不自由、不便と思うこともあるのではないか。」

学校には必要最低限のきまり、約束は必要ですが、基本的にはそこにいる先生、生徒、そして保護者の方々と、みんなが生活しやすいよう考えていけばよいと思っています。また、必要であれば、今ある約束やきまりをよりよく、より今の時代に合わせて変えていくことこそ大切なことです。これから、みんな考えを出し合って、より楽しく充実した学校にしていきましょう。その思いを後期の生徒会役員となった皆さんに託します。

では、短い間の秋休みとなりますが、健康や事故に十分気をつけて過ごしてください。また始業式で皆さんに会えることを楽しみにしています。